

四国8の字ネットワーク等高規格道路の整備促進

政策提言先 国土交通省・財務省・内閣府

政策提言の要旨

近年、激甚化・頻発化する豪雨災害や切迫度の高まる南海トラフ地震に備える上で、「四国8の字ネットワーク」は不可欠な社会基盤であり、国道55号、56号とのダブルネットワークを構築することにより、防災力向上にも大きく寄与する「命の道」となります。

昨年は、能登半島地震に始まり、4月には高知・愛媛両県で震度6弱を観測する地震が発生、8月の日向灘の地震では、南海トラフ地震臨時情報も発表される事態となりました。

また、本年1月には政府の地震調査委員会が南海トラフ地震の30年以内の発生確率を80%程度に引き上げるなど、大規模地震の切迫度が高まる中、災害に強い道路ネットワークの整備を急ぐ必要があります。

加えて、本県では、「活力にあふれる高知」、そして「安心して暮らせる高知」の実現を目指して、販路の拡大による地産外商の強化や新たな観光拠点の整備による観光誘客などを推進しています。「四国8の字ネットワーク」等の高規格道路は、こうした経済活性化の取り組みと一体となって、商圈や交流人口のさらなる拡大等、より大きな効果を地域にもたらします。

このため、安全・安心な暮らしを支え、地域経済の活性化に不可欠な「四国8の字ネットワーク」等の高規格道路の整備促進と、整備の後押しとなっていた「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」後も中長期的かつ明確な見通しの下、切れ目なく国土強靱化を推進できるよう、本年6月に策定予定の「国土強靱化実施中期計画」においては、現行対策を上回る事業規模としたうえで、必要な予算・財源を別枠で確保するとともに、能登半島地震の教訓を踏まえて、さらなる加速化を図るよう提言します。

【政策提言の具体的内容】

安全・安心な暮らしを支え、地域経済の活性化に不可欠となる

「四国8の字ネットワーク」等の整備は急務であり、以下の項目を提言します。

1 事業中箇所早期開通

早期の開通により、地域に様々な効果がいち早くもたらされます。

【早期開通に向けた整備促進、補助事業箇所の予算確保】

- 四国横断自動車道：窪川佐賀道路、佐賀大方道路、大方四万十道路、宿毛内海道路
- 高知東部自動車道：南国安芸道路（芸西西～安芸西）
- 阿南安芸自動車道：海部野根道路、野根安倉道路（直轄権限代行）、奈半利安芸道路、安芸道路、北川道路1工区及び北川道路2-2工区（補助事業費の確保）

2 「高速道路における安全・安心基本計画」に基づく暫定2車線区間の4車線化の着実な実施

暫定2車線区間の4車線化により、安全で安定した利用の確保と災害への備えが高まります。

- 高知自動車道：土佐PA～須崎東

3 計画段階評価完了区間の早期事業化

8の字と一体的に整備することで、整備効果を最大限発揮することが可能となります。

- 高知松山自動車道：いの～越知

4 国土強靱化のさらなる加速化

5か年加速化対策後も引き続き国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保したうえで、総枠を拡大し、切れ目無く継続的に実施することにより、高規格道路の整備の後押しが可能となります。

【政策提言の理由】

- ◇ 四国8の字ネットワーク等は、大規模災害時の生命線となり、安全・安心な暮らしを支えるとともに、地域経済の活性化に不可欠な基盤であることから、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」後も中長期的かつ明確な見通しの下、切れ目なく国土強靱化を推進できるよう、本年6月に策定予定の「国土強靱化実施中期計画」においては、現行対策を上回る事業規模としたうえで、必要な予算・財源を別枠で確保するとともに、能登半島地震の教訓を踏まえて、整備のさらなる加速化が図られるべきと考えます。